

<速報>

2023年12月に開催をした同講座の参加者満足度100%でした。

参加者様の感想は、裏面または、ホームページ（下記QRコード）から確認できますので、参考にしてください。

身の回りにあるクッション、枕などを活用する！

2024年 6月30日(日) 東京会場

【実技講習】拘縮予防・改善のためのケア技術

ご好評をいただいております田中先生(理学療法士)のオンライン講習「拘縮予防・改善のためのケア技術」ですが、いよいよ、対面式(実技講習)で開催することとなりました。この講習は、オンラインでお伝えしていた内容を実習をしながら解説していく流れとなりますが、より現実的(実践的)な内容にこだわり、このようなコンセプトで実施します。

<本講座のコンセプト>

- ①高価な介護用品がなければできない。ではなく、身の回りにあるクッション、座布団、タオル、枕などのできるケア技術をお伝えします。
- ②少人数制(8名限定)のため、講師と対話しやすい環境で、日頃の悩み、困っている点の相談をお受けいたします。



講師：田中義行 先生

理学療法士、株式会社大起エンゼルヘルプ介護事業部 事業部長補佐

都内病院、理学療法士養成校専任講師、介護老人保健施設リハビリテーション科責任者を経て、現職。職場では、介護技術のサポートに回り、それ以外では各地で研修や現場での直接指導も行う。著書「介護に役立つ! 写真でわかる拘縮ケア」「写真でわかる移乗・移動ケア」など多数

開催日時	2024年 6月 30日(日) 10:00 ~16:00 (開場 9:30~)
会場	メディカルセミナーズ看護教育支援室／東京都調布市東つつじヶ丘1-2-6【交通アクセス】京王線「つつじヶ丘駅」から徒歩1分 ※お申込者さまには、会場地図を郵送いたします。
対象 / 定員	すべての医療介護従事者 / 8名 ※看護職以外の方でもご参加は可能です
受講料金	33,000 円 (税込) ※受講料に昼食は含まれません。 ※お支払方法は、銀行振込ですが、クレジット決済をご希望の方は、WEBから申込みください。
参加者特典	お申込者様には、本講座のオンライン版の映像(視聴期間約30日)を事前提供しますので、お早目にお申し込みいただき、映像をご視聴後、実技講習に参加することをお勧めいたします。
プログラム	拘縮ケアに必要な基礎知識とは/褥瘡予防と拘縮予防の違い/触り方(虫様筋握り)/下衣(ズボン)の脱衣介助/下衣(ズボン)の着衣介助更衣のポイント/つかんでいる手を優しく離す方法/拘縮の種類(Hoffaの分類)/神経性拘縮の対応/非麻痺側座面のみ高くする神経性拘縮への対応/神経性拘縮の対応は座位だけなのか?/重力下にいる以上必ず抗重力筋が緊張する(筋性拘縮の原因)/筋性拘縮の根本要因と助長要因/神経性拘縮と筋性拘縮の見極め方は?/筋性拘縮でのチェックするポイント(6つ)/座位調整で気を付けるポイント等

お申し込み方法 & お申込後の流れ

- ① FAX、電話、ホームページからお申込みください。(下記参照)
- ② お申込みをされた方には、セミナー当日のご案内、受講料のお支払方法などをお知らせします。③ 受講料のお支払いが完了された方には、受講票、会場地図などを郵送いたします。

主催(お問合せ先)
メディカルセミナーズ事務局
東京都調布市東つつじヶ丘1-2-6
電話：03-6909-0870

WEBからの
お申込みは、
こちらの
QRコードへ→



- ✓ FAXの場合：下記に必要事項をご記入の上、FAXしてください。当社よりお申込み代表者様宛にFAXでご返信いたします。
- ✓ 電話の場合：当社(03-6909-0870)に連絡し、参加希望のセミナー名をお伝えください※受付時間：9~17時(土日祝日を除く)
- ✓ ホームページの場合：当社ホームページ(<http://www.medisemi.com>)からお申込みください。当社よりメールでご返信いたします。

お申込み代表者名	フリガナ	施設名	勤務部署	
受講票送付住所	↓どちらかを○で囲ってください。〒 (自宅・勤務先)			
参加人数	名	電話番号(緊急連絡先)	FAX番号(必須) (自宅・勤務先)	
すべての受講者名/フリガナ		ご職種	すべての受講者名/フリガナ	ご職種
1		3		
2		4		

メディカルセミナーズ事務局行き
お申込みFAX番号(24時間受付)

▶ 050-3488-0116



参加者の感想集

実技講習「拘縮予防・改善のためのケア技術」

ここでは、2023年12月に初開催をした実技講習「拘縮予防・改善のためのケア技術」の参加者の声をお伝えいたしますが、本講座の特徴は、拘縮対策の「理屈」を理解していただくため、まず、やってはいけない事を理解してから、正しい対策方法を学んでいきます。この方法は、とても記憶にも残りやすい進行方法だと思いますので、職場でもご活用ください。更に、身近な物品で拘縮対策ができるように、安価な枕、座布団、授乳クッション、タオルなどを利用しながら進行しますので、どんな環境下でも実践できる内容です。参加者アンケートでは、参加者全員が「大満足」と評価いただき、参加者のお一人が、「今すぐ、実践してみたい!」と言っていたのが印象的でした。本講座の参加者の方の感想をお伝えします。

<参加者の感想> ※2023年12月9日のアンケートより

- ◆充実しすぎていっぱいだったので、また受けたいです。抗重力筋についてやっとわかりました。クッションの使い方などわからなかったのが、実際に体験してみてよかったです。患者さんの大変さがよくわかりました。
- ◆拘縮・ねじれ等の体験が良かった。教わったことはすべてやってみたいです。映像を見てわかっていたつもりでしたが、実技講習を受けてみて初めて理解できたことが多かったです。
- ◆これまで本や座学で勉強していましたが、実技を通して忘れていた部分に気づけました。
- ◆今いる利用者の拘縮をゆるませ、食事摂取できるようにしたいと思い参加しました。本やWEBセミナーでわかったつもりになっていたことを体験することで、どこをどうすればこうなる、という実際がわかり、即実践に使える内容で自分のモチベーションがかなりあがりました。
- ◆体のねじれの判断と患者さんの立場の感覚を知ることができた。スタッフにも伝えるための方法を知ることができた。現場で関心をもった人に伝えていきたい。
- ◆小児への拘縮対応について知りたかくて参加しました。説明と実技を通して即実践に活かしていただける内容で、とても勉強になりました。小児の在宅ケアにしっかりと活用していきたいと思います。